

## 閉会挨拶

座長 中村 信一

本日は都市圏プロ人材の活用のお話でありました。最初に澤飯様から都市圏プロ人材の地方での活用について、非常に分かりやすく、かつ、具体的なお話をいただき、次いで、北陸財務局から北陸地域における都市圏プロ人材の活用の現状について、課題を含めてお話を頂きました。

委員の方々から出されたご意見は、基本的にはより現実的な課題の提供だと思えます。本日の参事官のお話、本当にこれを実現していくには、北陸財務局のお話、そして各委員の切実な現実的課題をうまく取り込んでいくことが重要かと思えます。

また、稲垣委員のお話にありましたように、この前提条件としての中小企業を日本国はどうしていくのかというふうな課題、さらに、人工知能とかロボットの時代で、日本はそれにどう対応していくかを考えなければならないと思っております。

今年の新型コロナのパンデミックはいろいろなことを変えたということでもありますけれども、本日のテーマは、ある意味で新型コロナパンデミックが潜在的な課題を浮き彫りにしたというようなことではないかと思っております。

本日は現実がどうであるか、そして、あるべき方向がある程度示されたようであります。未来に向かって進むべき方向が少しは明るくなったかなというような感じがします。

以上